



～かぐやが見た月～ 月への夢飛行

2019年。国立宇宙科学館では、アポロ月着陸50周年記念のイベント“夢飛行プロジェクト”が行われます。それは、まるで自ら月を周回しているかのように、バーチャルフライト(仮想飛行)が体験できる画期的なイベントです。主人公のかぐやは、月探査機『かぐや』が打ち上げられた2007年9月14日生まれ。はたして、かぐやは夢飛行を体験できるのでしょうか。月の謎に迫る親子の物語を、月探査機『かぐや』が撮影した、高精度のハイビジョン映像とともに楽しみいただけます。

投影時間 25分 対象 小学校中学年～一般
登場人物 かぐや(少女)、父親、的川泰宣 工学博士
素材 スライド/80枚 VTR/20分



1 小学6年生のかぐやは月や宇宙が大好きな女の子。今、月をテーマにしたレポートを書いています。かぐやが張り切っているのには理由があります。優秀者は国立宇宙科学館のスペシャルイベントに参加できるからなのです。



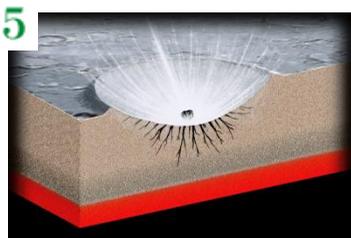
2 気負い過ぎてなかなか進まないレポートを見かねて、お父さんは「お前が思うまま感じたままを書けばいい」と励まし、それとなく助け船をだしてくれるのでした。ここから、月の謎を探る親子の物語がはじまります。



3 月の謎1: 月の満ち欠け
「月の満ち欠けのしくみはこうだ」
まだ、よく理解できていないかぐやに、お父さんはCG動画や図解説明を使って、満ち欠けのしくみをわかりやすく解説してくれます。



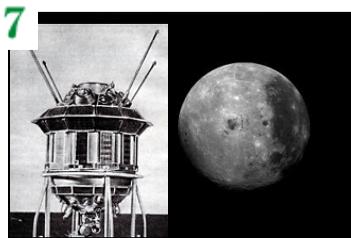
4 月の謎2: 月面の模様
「月は面白い模様ね」というかぐやに、お父さんは世界各国で異なる見方を教えてくれます。「この黒い模様の正体は？」の父の問いに「はい、海です」と答えるかぐや。月の海の名称、でき方を勉強しました。



5 月の謎3: 月のクレーター
「はじめて望遠鏡で月を観たのは誰だ？」の問いに、迷いながらも「ガリレオ」と答えるかぐや。クレーターのでき方やいろいろな大きさのクレーターがあることを学びます。



6 月の謎4: 同じ面しか見えない月
月の自転と公転周期が同じなので、地球からは月の同じ面しか見えないことを知るかぐや。木星や土星の衛星にも同じ特性があると教わり、ますます宇宙の不思議に魅せられるのでした。



7 月の謎5: 月の裏には海がない
地球から見えない月の裏側にも興味を抱いたかぐや。「裏側にも海やクレーターがあるの？」ルナ3号が撮影した月の裏側写真を見て、その地形の違いに興味を深めます。



8 月の謎6: 月の誕生
親子の会話は、最大の謎: 月の誕生におよびます。「アポロが持ち帰った月の石を調べてわかったのよね」というかぐやに、巨大衝突説をCG動画を見ながら、お父さんが解説してくれます。



9 「そんな謎を解明するために、日本でも月探査が行われたんだ」「それで、いよいよかぐやの登場ね」月探査機『かぐや』の役割と、今後の月探査や宇宙開発についての未来展望を的川泰宣工学博士に語っていただきます。



10 月探査機『かぐや』が撮影したハイビジョン映像“アリストアルコクレーター”“地球の出”“地球の入り”“メンデレエフ付近”を、かぐやが仮想体験する夢飛行とともに楽しみください。果たしてこれは、かぐやの夢だったのでしょうか…。